

八戸工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	保健体育ⅢA(0245)	
科目基礎情報							
科目番号		3Z10		科目区分	一般 / 必修		
授業形態		実技		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科		産業システム工学科環境都市・建築デザインコース		対象学年	3		
開設期		前期		週時間数	2		
教科書/教材							
担当教員		蝦名 謙一,川端 良介					
到達目標							
授業計画に明示されている運動スキルを習得し、各運動の競技運営と管理ができる							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		授業計画に明示されている運動スキルを習得し、自主的に各運動の競技運営と管理ができる		授業計画に明示されている運動スキルを習得し、各運動の競技運営と管理ができる		授業計画に明示されている運動スキルを習得し、各運動の競技運営と管理ができていない	
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
ディプロマポリシー DP1							
教育方法等							
概要		【開講学期】春学期週2時間、夏学期週4時間 3年次においては、主としてバレーボールスパイク、水泳、ユニバーサルホッケー、フットサル、バスケットボール基本について理解し、導入においては、十分なストレッチング、コンディショニングを実施し傷害予防とする。主運動では、用具の安全を確認し、実技の展開に入る。					
授業の進め方・方法		終わりに、環境を整え、次回への動機づけにする。各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにするとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて自主的、継続的に運動ができる資質や能力を兼ね備えた技術者を育てる。					
注意点		Tシャツ、ジャージの着用、ピアス、ネックレス、指輪等をはずすなど、個人及び集団の安全に配慮し、率先して運動ができるよう留意すること。					
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	オリエンテーション 教室で説明				
		2週	ラジオ体操、ストレッチ、散歩、ジョギングPart1				
		3週	ラジオ体操、ストレッチ、散歩、ジョギングPart2				
		4週	ラジオ体操、ストレッチ、散歩、ジョギングPart3				
		5週	ラジオ体操、ストレッチ、散歩、ジョギングPart4				
		6週	ラジオ体操、ストレッチ、散歩、ジョギングPart5				
		7週	ラジオ体操、ストレッチ、散歩、ジョギングPart6				
		8週	オリエンテーション 第1体育館で説明 ゴルフ：パッティング クラブ、マット作り				
	2ndQ	9週	パッティング練習その1 50,100,150,180 c mの4段階で練習				
		10週	パッティング練習その2 50,100,150,180 c mの4段階で練習				
		11週	パッティング練習その3 蝦名◎打法伝授、4段階で練習				
		12週	パッティング練習その4 傾斜に挑戦、4段階で練習				
		13週	パッティング練習その5 傾斜に挑戦、4段階で練習				
		14週	180 c mのパッティング テスト				
		15週	総括、達成度評価アンケート				
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
分野横断的能力	態度・志向性(人間力)	態度・志向性	態度・志向性	周囲の状況と自身の立場に照らし、必要な行動をとることができる。	2		
				自らの考えで責任を持つてものごとに取り組むことができる。	2		
				目標の実現に向けて計画ができる。	2		
				目標の実現に向けて自らを律して行動できる。	2		
				日常生活における時間管理、健康管理、金銭管理などができる。	2		
				社会の一員として、自らの行動、発言、役割を認識して行動できる。	2		
				チームで協調・共同することの意義・効果を認識している。	2		
				チームで協調・共同するために自身の感情をコントロールし、他者の意見を尊重するためのコミュニケーションをとることができる。	2		
当事者意識をもってチームでの作業・研究を進めることができる	2						

				チームのメンバーとしての役割を把握した行動ができる。	2	
				リーダーがとるべき行動や役割をあげることができる。	2	
				適切な方向性に沿った協調行動を促すことができる。	2	
				リーダーシップを発揮する(させる)ためには情報収集やチーム内での相談が必要であることを知っている	2	
				法令やルールを遵守した行動をとれる。	2	
				他者のおかれている状況に配慮した行動がとれる。	2	

評価割合					
	新体力テスト	スキルテスト	平素の学習状況等	合計	
総合評価割合	20	40	40	100	
基礎的能力	20	40	40	100	
専門的能力	0	0	0	0	
分野横断的能力	0	0	0	0	